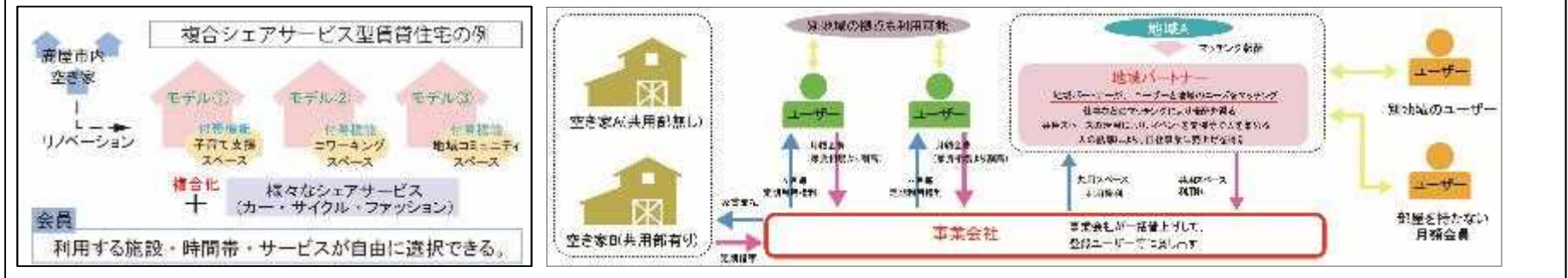


# 鹿屋市複合シェアサービス型賃貸住宅モデル構想策定プロジェクト (株式会社九州経済研究所)

課題と目的	空き家活用の“鹿屋市モデル”として汎用性の高い利活用策の確立と、他拠点生活など現代のライフスタイルとも適合しうる空き家活用の新機軸となる事業モデルの開発
取組内容	空き家バンク等から候補物件を選定して調査等を実施の上、モデル物件を決定し、複合シェアサービス型賃貸住宅（空間シェア・サービスシェアの考えを複合的に取り入れた空き家活用手法）の試行・効果検証を通し、事業モデルを確立する。
成果	「鹿屋市複合シェアサービス型住宅モデル構想」 * 上記検討結果を取りまとめたもの

## 【取組内容の概要】

### ■複合シェアサービス型賃貸住宅について



## 【改修プラン】

### ■郊外型

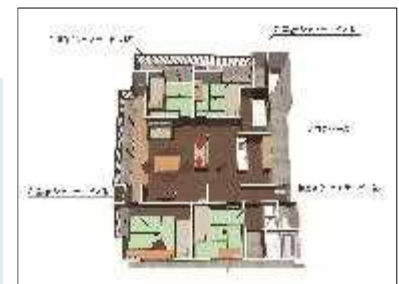
- 機能 : 賃貸(2部屋)  
 シェアサービス型(1部屋)  
 コミュニティスペース  
 シェアサイクルステーション  
 ライブラリー など



農業にチャレンジしたいユーザーが周辺地域の農場等で働きながら短期移住するため住宅。  
 週末には、隣接するコミュニティスペースで地域連携による農業関連イベントや実技レクチャー等が開催され賑わいます。

### ■まちなか型

- 機能 : 賃貸(3部屋)  
 シェアサービス型(4部屋)  
 ギャラリー  
 テナントスペース  
 (交流スペース兼用) など



京町通りに面する空き家2件と空き店舗3件を改修し、ユーザーと地域が交流する新たなスポットとして活性化します。  
 京町通りに再びにぎわいを取り戻すことを狙いとします。